

平成29年度  
花巻市行政評価委員会評価報告書

平成29年9月  
花巻市行政評価委員会

平成29年度

花巻市行政評価委員会評価報告書

目次

1	委員長あいさつ	1
2	花巻市の行政評価の概要	
	・行政評価とは	2
	・行政評価の目的	3
	・花巻市まちづくり総合計画の構成（政策体系）と行政評価	3
	・行政評価の手法	4
	・市民参画による評価	4
3	花巻市行政評価委員会における評価の視点	5
4	花巻市行政評価委員会の評価対象施策	6
5	花巻市行政評価委員会の評価スケジュール	7
6	施策評価検証シート	
	・しごと部会	8
	・暮らし部会	12
	・人づくり・地域づくり部会	17
7	行政評価の改善に関する提言	21
参考資料		
	・花巻市行政評価委員会設置要綱	22
	・委員名簿	23

## 1 委員長あいさつ

花巻市は、平成 19 年度に行政評価を導入して事務事業評価を実施し、平成 20 年度からは施策評価を実施するなど、行政評価制度の充実を図っています。行政評価の目的は、花巻市まちづくり総合計画における政策、施策、事務事業について、年度ごとにその成果を客観的に評価し、その結果を次年度の施策の方向や予算等に反映させようとすることにあります。

花巻市の行政評価制度の充実の一環として平成 23 年度に設置されたのが花巻市行政評価委員会です。本委員会は、花巻市の行政評価の客観性と透明性の向上、市民参加による行政評価の充実を図ることを目的として活動しております。その活動は、委員が所属する 3 つの部会（「しごと」、「暮らし」、「人づくり・地域づくり」）における施策及びそれを構成する事務事業に対する内部評価に対する市民の立場からの評価、全体会における各部会の評価結果の共有、行政評価制度のあり方等に関する提案という形をとって表れています。さらに、本委員会ではこれらを報告書としてまとめるとともに、ホームページを通して広く市民に公表しております。このことは、花巻市における行政評価制度のさらなる充実を図るうえで重要な活動と認識しております。

ところで、花巻市では、平成 25 年度の花巻市まちづくり総合計画の策定を機に、平成 26 年度から、施策レベルでの評価をメインとした、施策を構成する事務事業の選択・重点化を重視した評価に変更しています。今年度の花巻市行政評価委員会でも、これを受ける形で、13 施策（55 事務事業）を評価対象としました。さらに、今年度から、花巻市が実施した行政評価の結果について評価、検証する際に使用する「施策評価検証シート」の様式を一新すると同時に、本委員会による評価であることを明確にするために、報告書名を「花巻市行政評価報告書」から「花巻市行政評価委員会評価報告書」に変更しています。これらの評価と検証に関する各部会、全体会の議論の内容については本文をご覧ください。

各委員の方々には、多忙なか貴重な時間を割いていただき、猛暑にもかかわらず部会での評価や全体会での議論に参加していただきました。評価対象の施策主管課の方々にはヒアリングのための資料の作成、丁寧な説明をいただきました。委員会事務局の方々には円滑な運営、そして短期間での報告書作成のためにご尽力いただきました。この場をお借りして関係各位に深く感謝申し上げます。

本報告書が、今後の花巻市の行政活動を改善するための議論の参考となれば幸いです。

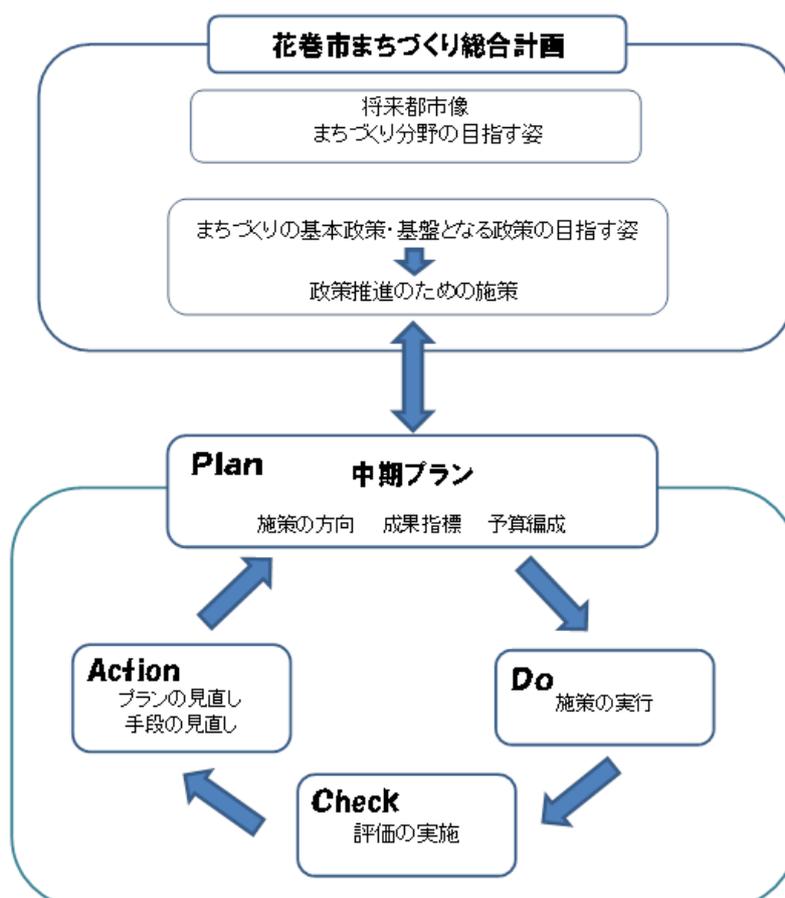
花巻市行政評価委員会 委員長 影山 一男

## 2 花巻市の行政評価の概要

### 行政評価とは

行政評価とは、花巻市まちづくり総合計画における政策や施策、事務事業についてどのような成果があったかを客観的に評価し、その結果を次の施策等に反映させるためのものです。

具体的には、花巻市まちづくり総合計画の政策体系に沿って、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）のサイクルにより、前年度の結果を振り返り、そこから改革や改善の方策を考えて、次年度の施策の方向や予算等に反映させます。



## 行政評価の目的

### (1) 効果的・効率的な行政運営の推進

限られた行政資源（ヒト、モノ、カネ）を最大限活用し、事務事業の効率化、適正化を図るとともに、目的の達成状況等を評価して見直し・改善を行います。

### (2) 市民への説明責任と行政情報の共有

評価結果をわかりやすいかたちで公表することで、市民に対する説明責任を果たすとともに、市政への共通認識を深め、市民と行政との協働の取組を進めます。

### (3) 職員の政策形成能力の向上と意識改革

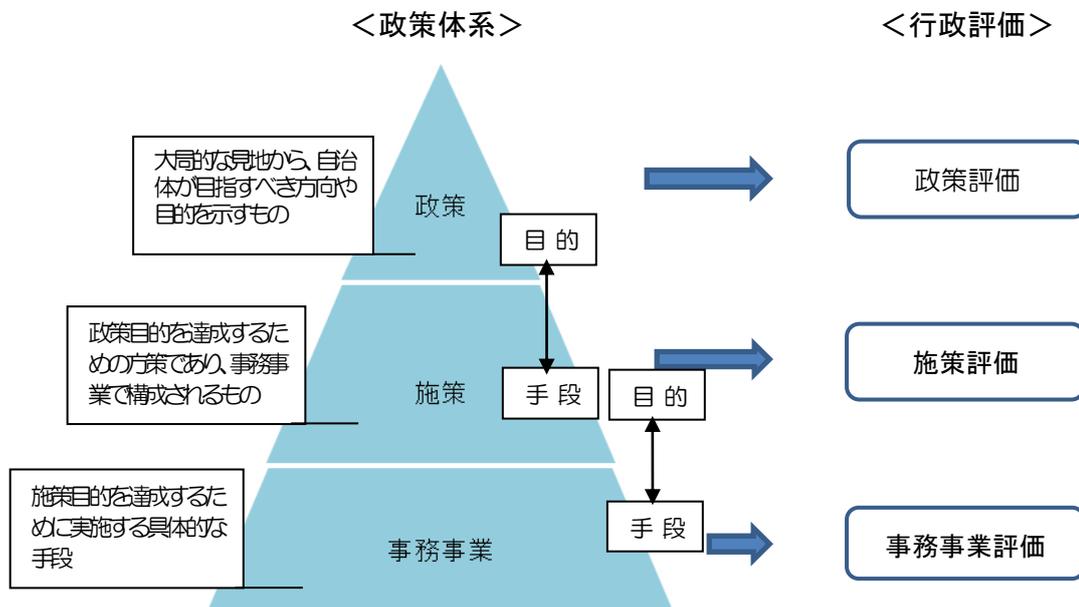
評価を通じ、目的・成果・コスト意識を持つことにより、職員の政策形成能力の向上や財源を効率的・効果的に活用する意識の徹底を図ります。

### (4) 花巻市まちづくり総合計画の進行管理

花巻市まちづくり総合計画の各施策について、成果指標の達成状況の把握等により、その進行管理を行うとともに、施策目的達成のための事務事業の構成など、施策の方向性を検討し、次年度の重点施策の策定と予算編成への活用を図ります。

## 花巻市まちづくり総合計画の構成（政策体系）と行政評価

花巻市まちづくり総合計画は、花巻市の目指すべき将来都市像「市民パワーをひとつに歴史と文化で拓く 笑顔の花咲く温か都市 イーハートープはなまき」を実現するため、5つのまちづくりの分野の目指す姿の下に、政策、施策、事務事業の3つの階層によって体系が構成されています。花巻市の行政評価は、この体系に基づいて実施しています。



## 行政評価の手法

---

花巻市では、平成26年度から10年間の計画期間とする花巻市まちづくり総合計画の策定を機に、従来の事務事業評価を中心とした評価から、施策を構成する事務事業の選択・重点化を重視した施策評価を中心とする評価システムを運用しています。

### (1)政策評価

市政の方向を示す政策や政策を構成する施策を大局的な視点でとらえ、政策の目指す姿を実現するための問題点や課題を総括します。【中期プランの最終年度に実施】

### (2)施策評価

政策目的を達成するための手段としての施策の有効性、また、施策を構成する事務事業が妥当かを評価します。評価の主な視点は以下のとおりです。

- 施策の目的と目標の確認
- 施策の現状と課題の認識
- 施策を構成する事務事業の貢献度等の検証

### (3)事務事業評価

成果指標の達成状況の検証を行うとともに、施策目的を達成するための手段である事務事業について、目的妥当性、有効性、効率性、公平性の視点で評価を行います。

## 市民参画による評価

---

花巻市による内部評価だけでなく、市民参画による客観的な評価により、わかりやすく透明性の高い行政運営を実現します。

その一端を担うのが、花巻市行政評価委員会による評価です。花巻市が実施した内部評価の結果について、外部の視点で評価するとともに、行政評価の改善について提言を行います。

### 3 花巻市行政評価委員会における評価の視点

花巻市では、花巻市まちづくり総合計画の策定を機に施策評価を中心とした行政評価システムを運用していることから、花巻市行政評価委員会においても、市が行った行政評価のうち施策評価を中心として検証、評価を行いました。

その際、花巻市が作成した「施策評価シート（平成28年度実績評価）」を以下の視点で検証、評価し、「施策評価検証シート」を作成しました。

#### (1) 施策を構成する事務事業の評価・検証について

- ・「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。（「直結度」の評価は的確かなど）
- ・「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。（市民ニーズや市の関与の必要性の変化等を把握しているか、費用対効果や成果の向上余地等を把握しているかなど）

#### (2) 施策の成果指標及び達成状況の分析について

- ・「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。（成果指標の実績値の増減理由等が明らかになっているかなど）

#### (3) 施策の総合的な評価について

- ・「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。（「3 成果指標の達成状況」、「5 施策を構成する事務事業の検証」等を踏まえて記載されているかなど）

#### (4) シート記載内容について

- ・ 施策評価に必要な事項がわかりやすく記載されているか。



第1回委員会（全体会）



第3回委員会（人づくり・地域づくり部会）

#### 4 花巻市行政評価委員会の評価対象施策

花巻市まちづくり総合計画では、将来都市像と5つのまちづくり分野の「目指す姿」を掲げ、その「目指す姿」の実現のために実施する21の政策と72の施策を示しています。

花巻市行政評価委員会での評価に当たり、「しごと」、「暮らし」、「人づくり・地域づくり」の3部会を設置して、各部会において評価対象施策を決定し、計13施策の評価を実施しました。

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会
1-3 商業の振興	1 商業形態の多様化	しごと
1-4 観光の振興	2 観光情報の発信	
1-5 農工商観連携の推進	2 特産品の開発	
1-6 雇用環境の充実	1 職業人材の育成	
2-4 日常生活の安全確保	1 生活相談の充実	暮らし
	2 防犯活動の推進	
	3 交通安全の推進	
2-5 福祉の充実	1 地域福祉の推進	
	2 高齢者福祉の充実	
3-1 子育て環境の充実	1 子育て支援の充実	
3-3 生涯学習の推進	1 自主的学習の推進	
	2 青少年の社会教育	
3-4 スポーツの振興	1 生涯スポーツの推進	



第4回委員会（暮らし部会）



第5回委員会（しごと部会）

## 5 花巻市行政評価委員会の評価スケジュール

回	日時	会議	内容	会場
第1回	5月25日	全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>花巻市行政評価委員会の役割や評価の進め方等の説明</li> <li>部会設置</li> <li>評価対象施策選定</li> <li>日程調整</li> </ul>	まなび学園
第2回 ～ 第5回	6月23日	暮らし部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策担当課へのヒアリング</li> <li>↓</li> <li>花巻市が作成した「施策評価シート（平成28年度実績評価）」の検証、評価</li> <li>↓</li> <li>「施策評価検証シート」の作成</li> </ul>	花巻市役所 本庁舎、 新館
	6月29日	暮らし部会		
	7月6日	しごと部会		
	7月7日	暮らし部会 人づくり・地域づくり部会		
	7月13日	人づくり・地域づくり部会		
	7月14日	暮らし部会		
	7月18日	しごと部会		
	7月21日	人づくり・地域づくり部会		
	7月25日	しごと部会		
	7月26日	しごと部会		
7月27日	人づくり・地域づくり部会			
第6回	8月10日	全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価結果の決定</li> <li>行政評価の改善に関する提言</li> </ul>	花巻市役所 本庁舎



第6回委員会（部会）



第6回委員会（全体会）

## 6 施策評価検証シート

評価年月日 平成29年 7月 6日

			部会名	しごと部会
施策No.	1-3-1	施策名	商業形態の多様化	施策主管課 商工労政課
施策の目指す姿		消費者ニーズに対応した多様な商業形態が形成されています		
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。  商店街賑わい再生戦略事業の「直結度」:この事業を構成するセミナー等は即効性が必ずしもないこと、市内全域を対象とする事業であるにもかかわらず「小さな百貨店ぶらっと」(石鳥谷中央通り商店街振興会)が一部地域に限定されていたことにより、B評価。  買い物困難者対策事業(ゼロ予算)の「直結度」:国の補助授業を活用した事業への販売場所等の提供に限られていることにより、B評価。  以上の評価がなされていたが、消費者のニーズに対応した多様な商業形態形成にとって、2つの事務事業は直接貢献しており、「直結度」はA評価としても良いのではないかと。</p> <p>● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。  市民ニーズや市の関与の必要性の変化、費用対効果や成果の向上余地等を把握し、的確に行われている。</p>				
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。  「まちづくり市民アンケート」に基づいて、単純集計(成果指標はこの数値)のみならずクロス集計(世代、地域)の動向についても説明がされ、的確に分析されている。  なお、岩手県による消費購買動向調査の結果も踏まえて、今後さらに分析を深めてほしい。</p>				
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。  課題と方向性について記載されているが、課題の文章表現がわかりにくい。また、方向性について、「小さな百貨店ぶらっと」という成功事例を、他の地域にも浸透させるということを加えるべきである。</p>				
<p>④ シート記載内容について</p> <p>直結度についての客観的な判断基準等が明示されていればさらによい。</p>				

				部会名	しごと部会
施策No.	1-4-2	施策名	観光情報の発信	施策主管課	観光課
施策の目指す姿		観光資源が国内外で有名になっています			
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 評価は的確に行われている。</p> <p>● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 観光情報発信事業の多くが花巻観光協会への委託事業であるが、この事業の効果・課題・今後の方向性等についての花巻市のチェック機能が十分に働いているのかが不明瞭である。</p> <p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 要因・背景分析の中心が花巻温泉郷への効果に関するものである。花巻市の構成地域である石鳥谷、東和、大迫地域への効果についても分析が必要ではないか。</p> <p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 課題に対応した方向性は的確にとらえられている。ただし、この施策の目指す姿の目標は達成しているが、この事業を通じて、市内全域へ経済的波及効果をもたらすというさらなる課題が浮き彫りになった。この事業を通じて、宿泊のみならず、イベント参加者の増加、食事の提供やお土産の売り上げ増にいかに関わりつけていくか、という課題を明確にしても良いのではないか。</p> <p>④ シート記載内容について</p> <p>施策の基本情報項目の現状と課題において、現状については記述されているが、課題については未記入である。主管課の説明では触れられていたため、記入すべきである。</p>					

				部会名	しごと部会
施策No.	1-5-2	施策名	特産品の開発	施策主管課	商工労政課
施策の目指す姿		地場産品を活用し、付加価値の高い多くの商品を開発しています			
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。  「直結度」の評価は適切に行われている。ただし、特産品開発・販路拡大事業について、この事業の成果に対する評価はCであるが、ヒアリング時に平成28年度の実績実例の紹介があり、それを考慮すると今後の高評価が期待できる。  なお、次のような意見が出た。業者への補助なのか、地域の発展にどのように繋がるのかが必ずしも明確になっていない。特産品開発の土台となる農畜産物素材がどのような状況なのかの検討が少ない。「はなまき産業大博覧会」をもっと有効に利用し、市民ニーズの発掘につなげてほしい。地域の隠れた特産品を再発見してほしい。</p> <p>● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。  市民ニーズや市の関与の必要性の変化、費用対効果や成果の向上余地等を把握し、的確に行われている。</p> <p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。  的確に行われている。ただし、D評価になっているが、内部評価の基準が厳しすぎるのではないか。</p> <p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。  農工商観連携事業であるが、観との連携という課題についても明示するべきである。この事務事業の制度そのもののPRがもっと必要ではないか。特産品開発の土台となる農畜産物をつくる農家等の課題との関連についても明示すべきではないか。</p> <p>④ シート記載内容について  特筆事項なし。</p>					

			部会名	しごと部会
施策No.	1-6-1	施策名	職業人材の育成	施策主管課 商工労政課
施策の目指す姿		企業が必要とする技術や能力を身につけています		
■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について				
① 施策を構成する事務事業の評価・検証について				
● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 「直結度」の評価は適切に行われている。ただし、各事業の成果はC評価となっているが、実績を見ると、必ずしも悪くない。目標値の設定に工夫が必要である。				
● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 市民ニーズや市の関与の必要性の変化、費用対効果や成果の向上余地等を把握し、的確に行われている。				
② 施策の成果指標及び達成状況の分析について				
● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 的確に行われている。ただし、達成度の評価はC評価となっているが、実績をみると、上昇している成果指標もある。成果指標の目標値設定に工夫が必要である。達成度を上げるためには、研修制度のPRを通じた企業への周知徹底、研修制度が企業ニーズに合った内容なのかどうかの検討、企業に対する研修資料の配付等の工夫が必要である。				
③ 施策の総合的な評価について				
● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 課題・方向性が的確に示されている。さらに、離職対策を積極的に重視するということを明示した方が良い。				
④ シート記載内容について				
特筆事項なし。				

			部会名	暮らし部会
施策No.	2-4-1	施策名	生活相談の充実	施策主管課 市民生活総合相談センター
施策の目指す姿		日常生活の悩みや問題が少なくなっています		
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 構成する事務事業の「直結度」はおおむね的確である。</p> <p>● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 構成する事務事業の検証については、おおむね的確である。 なお、「新たに取り組むべき事業はないか」について、「タイムリーで確実な情報伝達手段」との記載があるが、その具体的な例示があれば良い。</p> <p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 実績値の増減理由は明らかになっているとは言えない(把握できていない)。そもそも市民アンケートの設問が分かりにくい。また、達成状況の要因を「情報発信不足」と分析しているが、情報発信の方法が適切でないことが原因ではないか。全体として、更に詳しい分析が必要である。</p> <p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 施策の課題に対し、今後の方向性が的確に示されている。</p> <p>④ シート記載内容について</p> <p>講座等受講者の年代別データ、相談受付件数のうち解決件数など、もう少しデータがあれば良い。また、どういった相談が多いのかも分かれば良い。</p>				

			部会名	暮らし部会
施策No.	2-4-2	施策名	防犯活動の推進	施策主管課 市民生活総合相談センター
施策の目指す姿		犯罪に遭う人が少なくなっています		
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。          施策を構成する事務事業の「直結度」は的確にとらえている。</p> <p>● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。          構成する事務事業の検証については、おおむね的確であるが、身近に出来る対策については、もう少し具体的な内容がほしい。</p> <p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。          成果指標の達成状況及び実績値の増減理由が的確に分析されている。          → 市内の戸締りをする割合は横ばいで推移しているが、高齢者世帯や郊外世帯では戸締り割合が低い傾向にある。</p> <p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。          課題として取り上げられている「防犯隊隊員の高齢化や後継者の不足」への対応策についても記載するべきである。</p> <p>④ シート記載内容について          特になし。</p>				

			部会名	暮らし部会
施策No.	2-4-3	施策名	交通安全の推進	施策主管課 市民生活総合相談センター
施策の目指す姿		交通事故が少なくなっています		
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>●「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。          施策を構成する事務事業の「直結度」は的確にとらえている。</p> <p>●「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。          構成する事務事業の検証については、おおむね的確である。</p> <p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>●「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。          交通安全コンクール「チャレンジ100」の参加者数が目標に達しなかった要因として、「事業に対するマンネリ感」と分析しているが、マンネリ感と判断した根拠も記載してあれば分かりやすい。</p> <p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>●「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。          課題として取り上げられている「交通指導員の不足」への対応策についても記載すべきである。また、交通指導員の現在の定数が適正であるかの評価も必要ではないか。</p> <p>④ シート記載内容について</p> <p>交通安全推進事業の事務事業評価シートについて、事業手法の詳細欄に図示しているが、矢印の意味を記載した方がより分かりやすい。</p>				

			部会名	暮らし部会	
施策No.	2-5-1	施策名	地域福祉の推進	施策主管課	地域福祉課
施策の目指す姿		地域の住民が共に助け合って生活しています			
<p>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</p> <p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。          施策を構成する事務事業の「直結度」の評価は的確である。</p> <p>● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。          構成する事務事業の検証についてはおおむね的確であるが、福祉情報発信事業に関しては、具体的にどのように周知を図るのかということも記載するべきである。</p> <p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。          成果指標が1つだと施策の取組について正確な分析が難しいため、分析が十分ということはない。</p> <p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。          民生委員に関することが唐突に課題として挙げられていることに違和感を覚える。また、「20歳から64歳までの現役世代への相談機関や窓口の周知方法について検討する。」との記載があるが、具体的な周知方法について踏み込んで記載するべきである。</p> <p>④ シート記載内容について</p> <p>特になし。</p>					

			部会名	暮らし部会
施策No.	2-5-2	施策名	高齢者福祉の充実	施策主管課 長寿福祉課
施策の目指す姿		高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っています		
■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について				
① 施策を構成する事務事業の評価・検証について				
● 「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。 「施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価は的確である。				
● 「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 構成する事務事業の検証については、おおむね的確であるが、老人クラブ会員数(高齢者社会参加活動支援事業)だけで成果を図ることが難しくなっているのではないかと。多角的に評価できる指標を設定してもいいのではないかと。老人クラブ以外の高齢者の活動団体の活動状況も把握してはどうか。→老人クラブ会員のニーズの把握等について取り組んでみてはどうか。				
② 施策の成果指標及び達成状況の分析について				
● 「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。 老人クラブの数だけでは的確に分析できない部分がある。社会経済的な要因等も含めて分析するべきである。				
③ 施策の総合的な評価について				
● 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。 今後の方向性について、もう少し具体性を持たせることが望ましい。				
④ シート記載内容について				
特になし。ただし、事務事業名はもう少し分かりやすいものがあればなお良い。				

			<b>部会名</b>	人づくり・地域づくり部会	
<b>施策No.</b>	3-1-1	<b>施策名</b>	子育て支援の充実	<b>施策主管課</b>	こども課
<b>施策の目指す姿</b>		安心して子育てしています			
<b>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</b>					
<p><b>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</b></p> <p>●「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。  「直結度」評価はおおむね的確である。ただし、「直結度」の基準が現状では担当者の主観であるため、第三者に説明しやすい基準を工夫する必要がある。</p> <p>●「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。  施策評価シートの記載内容と各事業の事務事業評価シートの内容とのつながりが明確ではない。記載内容が、事務事業評価シートの記載のどの部分を踏まえたものなのかが分かるような記載の工夫が必要である。  さらに成果の向上を図る事業として記載されている「待機児童解消のための保育量確保対策事業」は、ヒアリングの過程において既存の事務事業の成果向上を図る内容(保育施設環境整備支援事業による施設の充実)と、新たに取り組むべき事業に相当する内容(マンパワーの確保)の2つに分けられることが分かった。マンパワー確保の側面での保育量確保対策については、新たに取り組むべき事業の欄に分けて記載するのが妥当である。</p>					
<p><b>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</b></p> <p>●「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。  成果指標の実績値の増減理由等はおおむね明らかになっている。ただし、市の子育て相談体制に関して「不十分」との回答が7.5%に上る背景や要因の分析が必要である。</p>					
<p><b>③ 施策の総合的な評価について</b></p> <p>●「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。  記載されている5つの課題は、特に事務事業の検証の記載とのつながりが不明確なので、両者のつながりを明確に記載する必要がある。  施策に対する課題はおおむねとらえられている。  「相談体制の充実」、「強化を図っていく」の記載については、ヒアリングにおいて、より具体的な取組が明らかになった。施策評価シートにおいても、具体的な取組を記載するようにした方が望ましい。</p>					
<p><b>④ シート記載内容について</b></p> <p>「1 主な取組実績」は「4 事務事業一覧」の説明ではなく、施策の目玉となる実績をいくつかピックアップして記載したほうが良い。  複数の施策評価シートの同じ欄(たとえば「主な取組実績」)の記載を見比べてみると、施策によって記載の仕方が異なっている。施策(記入者)による記載のバラツキが生じにくくなるような(施策評価シート記載要領の)工夫が必要である。</p>					

			部会名	人づくり・地域づくり部会	
施策No.	3-3-1	施策名	自主的学習の推進	施策主管課	生涯学習課
施策の目指す姿		自主的な生涯学習活動を活発に行っています			
■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について					
<p>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</p> <p>●「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。          一覧に記載されている事務事業については的確である。ただし、「主な取組実績」や「施策の総合的な評価」などの欄に記載がありながら事務事業一覧に記載されていない新花巻図書館整備についても、施策への貢献度の評価対象にすべきである。</p> <p>●「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。          生涯学習に対する「ニーズの多様化」の具体的な内容が不明であり、明確な根拠に基づいて検証が行われているとは言い難い。また、生涯学習講座開催事業は、市以外の団体においても類似の取組が行われており、相互の連携により成果の向上を図る余地がある。</p>					
<p>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</p> <p>●「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。          生涯学習の成果指標は「参加者数」で把握されるべきであり、現状の指標「講師新規登録者数」は、施策の成果を測る上で適切でない。</p>					
<p>③ 施策の総合的な評価について</p> <p>●「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。          上記で述べたように、成果指標が適切でなく、事務事業の検証も不十分であるため、本欄の記載内容も的確とは言い難い。2つの課題の根拠が不明確である。講座の参加者数など、既に集められているデータの分析を反映させた形での課題抽出が行われるべきである。          「今後の方向性」の3つ目の新花巻図書館整備は、課題が示されていないのに今後の方向性だけが記載されており、適切でない。</p>					
<p>④ シート記載内容について</p> <p>事務事業検証の的確性や、施策の総合的な評価においても触れたように、データ等の具体的な根拠に基づいた記載が十分に行われていない。</p>					

				部会名	人づくり・地域づくり部会
施策No.	3-3-2	施策名	青少年の社会教育	施策主管課	生涯学習課
施策の目指す姿		地域社会の中で、自立した青少年が育っています			
<p><b>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</b></p> <p><b>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</b></p> <p>●「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。          いずれの事務事業も複数の取組で構成されており、一覧を見るだけでは事務事業の内容の全体像がわかりにくい。そのため、2つの事業の直結度や貢献度の評価が的確なのか判断できない。直結度や貢献度の的確性以前に、事務事業の括り自体が的確でない。例えば青少年活動推進事業については、「成人式の実施」、「こどもの集い」、「おもしろ探検隊の開催」、「青少年関係団体支援」など事務事業の下にある各取組それぞれの施策への直結度評価も行うべきである。</p> <p>●「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。          例えば「こどもの集い」や「おもしろ探検隊」に類似する取組はコミュニティ単位でも行われており、市の事務事業によるものが唯一無二という訳ではない。「効果的・効率的な行政運営の推進」や「コスト意識の徹底」を実現するためにも、他の主体による類似の取組をきちんと把握し、市の施策や事務事業でなければならないこと(市の役割)を見極めた上で施策や事務事業を設定すべきである。</p> <p>「さらに成果の向上を図る事業はないか」の1つ目の内容(生涯学習事業、先人顕彰、芸術文化、スポーツ等との連携による青少年育成が必要)は、施策評価シートの他の欄や事務事業評価シートの内容を見ても根拠になる記述がなく、的確な検証が行われているとは言い難い。加えて、青少年育成の内容についても、どのようなものを想定しているのか具体的な内容が記載されていない。</p> <p><b>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</b></p> <p>●「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。          読み手の立場で見ると、背景・要因の根拠が不明確であり、論理もわかりにくい部分がある(例:「少子化の進行や若者の転出者の多さ」と「青少年の関わりが見えない」のつながりや、「核家族化の進展」と「保護者や青少年の多忙化」のつながり)。そのため、分析が的確に行われているとは言い難い。          成果指標の1つ「地域の行事やボランティア行事に青少年が参加していると思う市民の割合」に用いられている市民アンケートは、青少年自身と接点を持たない人を含んだ主観的評価であり、施策の目指す姿「自立した青少年が育っている」を把握する上で適切でない。青少年自身が育っている状況を客観的に測れる指標を用いるべきである。</p> <p><b>③ 施策の総合的な評価について</b></p> <p>●「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。          2つの課題のいずれも、成果指標の達成状況や事務事業の検証を踏まえた記載になっていない。特に課題の1つ目は、成果指標の分析や事務事業の検証を踏まえていないために、読み手の立場から見ると、社会で一般的に言われていることが書かれているだけで、市としての課題が提示されているように見えない。結果的に同じ趣旨の内容が市の課題として導き出されるとしても、その背景や根拠(成果指標や事務事業の検証など)をきちんと示すべきである。          今後の方向性にかけている「機会を設ける」、「意識の醸成を図る」、「連携した活動を行う」については、既存の事務事業の成果向上を図る話なのか、新たな事業を設定する話なのか、具体的な方向性が不明であり、課題に対する方向性の記載として適切でない。</p> <p><b>④ シート記載内容について</b></p> <p>事務事業一覧の「事業内容(実績)」の記載は、各事業の重要ポイントや全体像が分かりやすいようにもう少し詳しく書くべきである。事務事業評価シートを細かく読み解かないと事業の要点が把握できないのは、施策の実績を取りまとめるシートのあり方として適切でない。</p>					

			<b>部会名</b>		人づくり・地域づくり部会
<b>施策No.</b>	3-4-1	<b>施策名</b>	生涯スポーツの推進	<b>施策主管課</b>	スポーツ振興課
<b>施策の目指す姿</b>		生涯にわたり気軽にスポーツを行っています			
<b>■ 施策評価シート(平成28年度実績評価)について</b>					
<b>① 施策を構成する事務事業の評価・検証について</b>					
<p>●「4 施策を構成する事務事業一覧」の「施策への貢献度」の評価が的確に行われているか。  「直結度」の評価について、主観的にはおおむね的確と考える。ただし、事業内容(実績)の欄に、直結度や成果の判断を行った理由やその根拠となる材料(例:早起きマラソンの参加状況など)を記入すべきである。</p>					
<p>●「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。  市民ニーズや市の関与の必要性、投入コストのわりに成果が低い事業、施策への貢献度の低い事業が「なし」なのであれば、「なし」という結果だけではなく、その理由や根拠を明記すべきである。また、施策評価シートは「早起きマラソン」に関する記述のみであり、高齢者や障がい者等も含めた市民一般が「生涯にわたり気軽に」スポーツに取り組めるようにするためのきっかけづくりの取組については触れられていない。全体として施策の目指す姿の実現を意識した検証とはなっておらず、的確な検証とは言い難い。</p>					
<b>② 施策の成果指標及び達成状況の分析について</b>					
<p>●「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」の分析が的確に行われているか。  「早起きマラソン」の参加者の多くが小中学生であることを踏まえれば、延べ参加者数減少の背景・要因を「市全体の人口減少傾向」のみに求めるのは不十分である。少子化に伴う児童・生徒の減少などの、実際の参加者の属性などを踏まえた背景・要因への目配りが必要である。</p>					
<b>③ 施策の総合的な評価について</b>					
<p>●「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。  成果指標の一部を構成する「早起きマラソン」についての記述しかなく、施策の目指す姿の実現を図るための課題の導出や、課題に対する方向性が提示されていない。市民が「生涯にわたり気軽にスポーツを行」えるようにするには、そのきっかけづくりが重要であり、その手段は「早起きマラソン」だけでは不十分である。きっかけづくりの手段としては、市民の誰もが参加できる「総合型スポーツ教室」への着目が必要であり、その参加促進を課題として取り上げるとともに、今後の方向性として具体的な参加促進策を示す必要がある。</p>					
<b>④ シート記載内容について</b>					
<p>施策評価シートと事務事業評価シートのいずれも、なぜそのような記載(結論)になったのか、理由や根拠が不明確なものが散見される(今回の例では、施策評価シート「5 施策を構成する事務事業の検証」にある2か所の「なし」の理由、2つの事務事業評価シートの「目的妥当性」と「公平性」の記述がほぼ同一である理由、2つの事務事業評価シートの「総合評価」が事業の結果の総括になっていない理由が、いずれも不明である)。外部の人が読んで理由や背景が理解できる筋道の立った説明が求められる。</p>					

## 7 行政評価の改善に関する提言

- 花巻市行政評価委員会の委員は花巻地域の方が大半を占めている状況であるため、可能であれば、大迫、石鳥谷、東和各地域の代表の方を選任することを検討していただきたい。また、少なくとも、委員会の半数以上に出席できるような方を委員に選出するよう配慮すべきである。
- まちづくり市民アンケート結果はあくまで個人の主観であるため、まちづくり市民アンケート結果を施策の成果指標に使用するのであれば、ある程度評価の客観性を担保できるような設問に改善すべきである。

# 花巻市行政評価委員会設置要綱

平成 23 年花巻市告示第 273 号

(設置)

第 1 条 市の行政評価の客観性と透明性の向上を図るため、花巻市行政評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌)

第 2 条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 市が実施した行政評価の結果について評価すること。
- (2) 行政評価の改善について市長に提言すること。
- (3) その他行政評価に関し意見を述べること。

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 18 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 公共的団体等から推薦された者
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 公募による者

3 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員会に委員長及び副委員長各 1 人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(部会)

第 5 条 委員会に部会を設ける。

2 部会に属すべき委員は、委員長が委員の意見を聴いて指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選とする。

4 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長が指名する部会に属する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 6 条 会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、総合政策部において処理する。

(補則)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成 23 年 7 月 26 日から施行する。

(経過措置)

2 平成 23 年度において委嘱する委員の任期については、第 3 条第 3 項の規定に関わらず、委嘱の日から平成 25 年 3 月 31 日までとする。

附 則(平成 26 年 3 月 28 日告示第 72 号)

この告示は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

## 委員名簿

任期：H28.7.29～H30.7.28

区分	所属団体等	氏名	部会	備考
(1)公共的団体等から推薦された者	花巻農業協同組合	高橋 勉	人づくり・地域づくり	
	花巻商工会議所	小山田 雅一	しごと	
	社会福祉法人花巻市社会福祉協議会	高橋 照幸	暮らし	
	花巻工業クラブ	佐藤 忠司	しごと	
	一般社団法人花巻観光協会	高橋 誠	人づくり・地域づくり	
	花巻市PTA 連合会	久保田 武司	人づくり・地域づくり	
	花巻市食生活改善推進員協議会	吉田 幸子	暮らし	
	公益社団法人花巻青年会議所	箱崎 陽介	しごと	
	一般財団法人花巻市体育協会	久保田 廣美	人づくり・地域づくり	
	花巻市芸術協会	福盛田 弘	暮らし	
	東北税理士会花巻支部	戸耒 一夫	しごと	
	一般社団法人岩手県建築士会花巻支部	木村 直樹	暮らし	
(2)学識経験を有する者	学校法人富士大学経済学部教授	影山 一男	しごと	委員長 部会長
	学校法人富士大学経済学部教授	鈴木 健	暮らし	副委員長 部会長
	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部准教授	堀籠 義裕	人づくり・地域づくり	部会長
(3)公募による者	公募委員	高橋 セキ子	しごと	
	公募委員	板垣 武美	人づくり・地域づくり	